

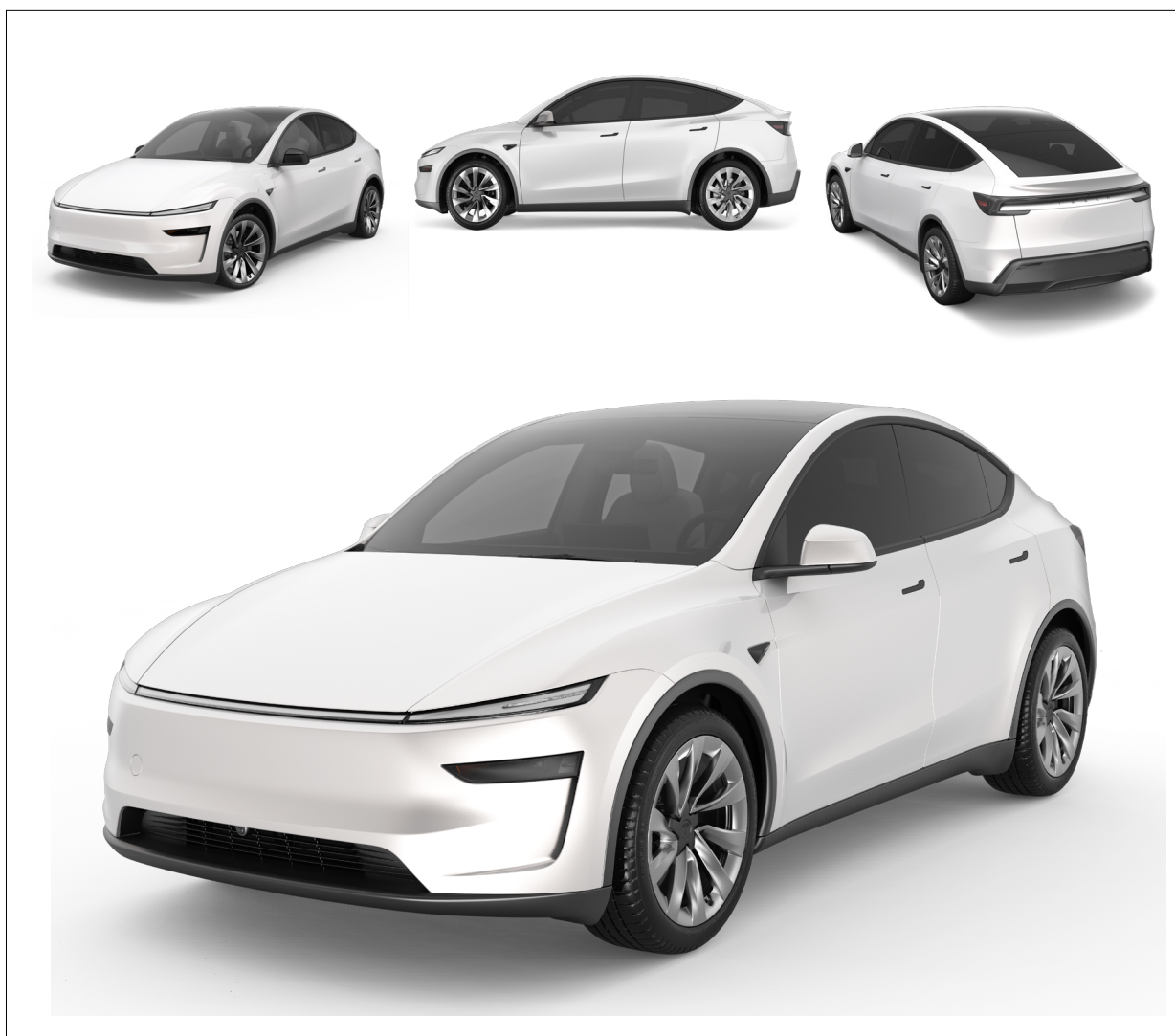


緊急救援隊員および2次対応者のための情報

緊急対応ガイド



TESLA
MODEL Y 2025+
電気自動車



バージョン：001

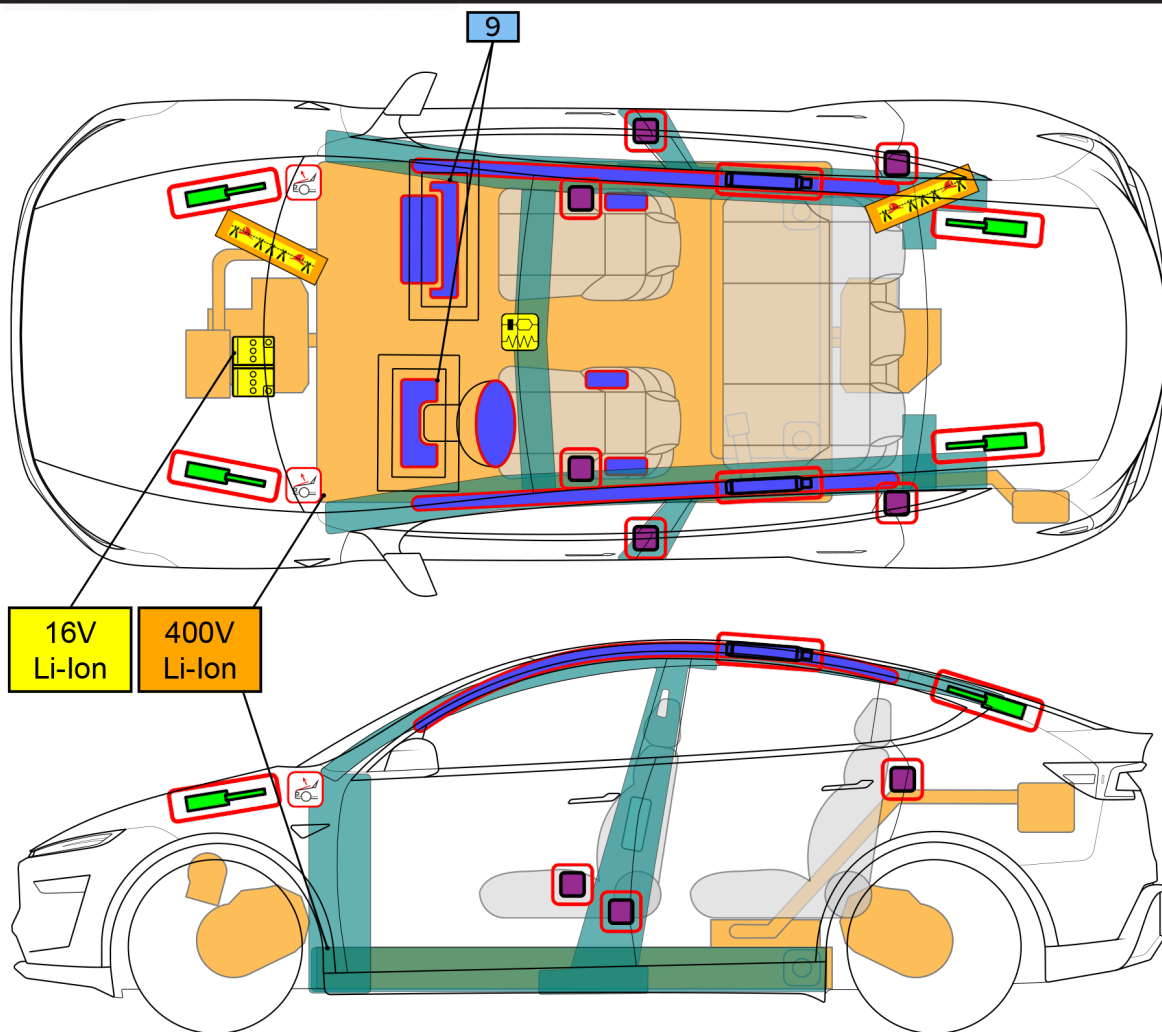
目次

0. レスキューシート	ページ1
1. 識別 / 認識	ページ2
2. 固定 / 安定化 / ジャッキアップ	ページ5
3. 直接的な危険を無効にする / 安全規制	ページ7
4. 乗員へのアクセス	ページ15
5. 蓄積されたエネルギー / 液体 / 気体 / 固体	ページ22
6. 火災の場合	ページ26
7. 水没の場合	ページ28
8. 牽引 / 輸送 / 保管	ページ29
9. 重要な追加情報	ページ32
10. 使用されている絵表示の説明	ページ33



TESLA MODEL Y

2025年から現在まで
5ドア / 5シート / SUV



メモ：装備内容はトリムにより異なります。

	エアバッグ		SRSコントロールユニット		充電ガスインフレーター		シートベルトプリテンショナー		ガスストラット/プリロードスプリング
	低電圧バッテリー		高電圧バッテリー		高電圧電力ケーブル		ケーブルの切断		高強度ゾーン
	歩行者保護アクティブシステム								



TESLA Model Y
2025年から現在まで

ID番号

TESLA-2025MY-001

バージョン番号

01

ページ番号

01/33

1. 識別 / 認識



警告 エンジン音がしないからといって、車両がオフ（停止）になっているわけではありません。車両が完全にシャットダウンされるまで、サイレントムーブメントやインスタントリスタート機能が稼働する可能性があります。適切な個人用防護具（PPE）を着用してください。

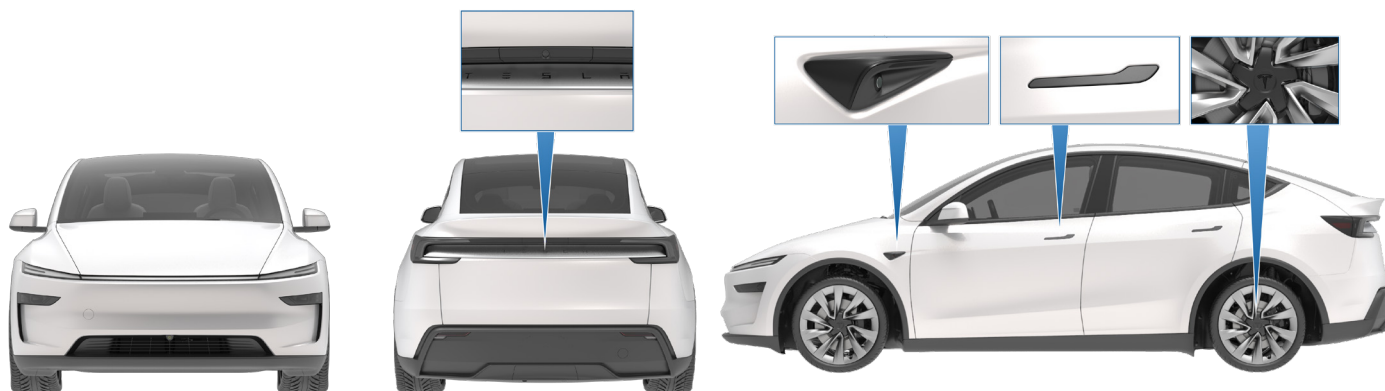
ワードマーク、バッジおよびドア ハンドル

Model Yは、リアフェイスアのTESLAワードマークと、独特な形状のドアハンドルによって識別できます。車両にモデル名は表示されていません。

2025年モデルのModel Yは、ヘッドライトやブレーキライトの形状、およびより角ばったフロントフェイスアにより、他の年式と区別できます。

メモ：Model Yは、デュアルモーター構成であることを示す「DUAL MOTOR」バッジがリフトゲート上に付いている場合があります。

メモ：ギガファクトリー上海で製造されたModel Yには、ボンネットにTeslaエンブレムが付いている場合があります。



車両識別番号 (VIN)

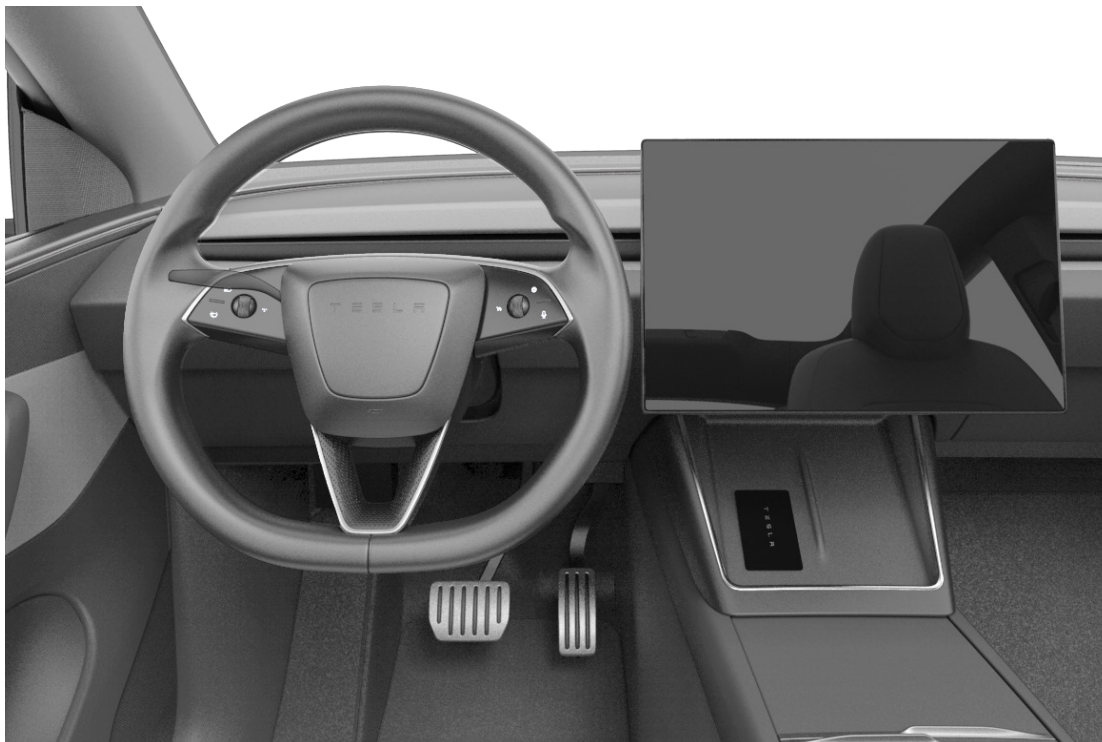
Model Yは、車両のVINで確認できます。運転席側のフロント ガラス越しから見える、ダッシュボード上側の刻印プレートに記載されています。VINは運転席側のドア ピラーにも貼付されています。一部の車両では、助手席下のカーペットの下や、右後部ドアの内装トリム下にあるラベルにも記載されている場合があります。

タッチスクリーンが操作可能な場合は、「コントロール」 > 「ソフトウェア」からVINを確認することもできます。



タッチスクリーンおよび車内

Model Yは、横向きに取り付けられた大型タッチスクリーンで車両を識別できます。また、ハンドルの後ろには1本のストークのみが備わっており、従来の年式では2本備わっています。

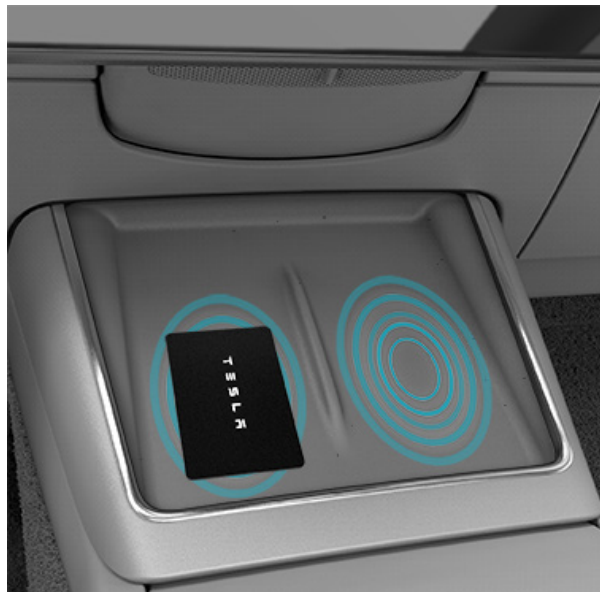


タッチスクリーン操作に関する情報については、[オーナーズ マニュアル](#)を参照してください。衝突後や車両のエアバッグが展開した場合、低電圧電源が供給されず、タッチスクリーンが動作しないことがあります。事故にあった車両で低電圧電源を供給しようとすると、電気火災が発生する可能性があります。事故後に低電圧電源を再接続することは推奨されません。

キー

Model Yは、3種類のキーに対応しています。

- **認証された電話機** - お使いのスマートフォンから、Model YとBluetoothを使って通信できるように設定できます。スマートフォンがすでに車両とペアリングされている場合は、スマートフォンでTeslaモバイルアプリを開き、「コントロール」に移動してModel Yのロック解除またはロックを行います。
- **キーカード** - 運転席側のドア ピラーにModel Yのキーカードをかざすことで、ロックされた車両にアクセスできます。また、ワイヤレス携帯電話充電器にキーをかざすことで、走行機能を有効にすることもできます。



- **キー FOB** - キー FOB は Model Y のミニチュア モデル のような形 を して います。 ボタン を 押す こと で フロント と リア の トランク を 開けたり、 Model Y の ロック を 解除 したり、 ロック したり、 運転 したり する こと が でき ます。



1. フロント トランク - ダブルクリックするとロックが解除され、開けることができます。
2. すべてロック/ロック解除 - シングルクリックしてドアとトランクをロックします (すべてのドアとトランクを閉めておく必要があります)。ダブルクリックしてドアとトランクのロックを解除します。
3. リア トランク - リア トランクを開閉するには、ダブルクリックします。充電ポート ドアを開くには、1~2秒間押し続けます。

2. 固定 / 安定化 / ジャッキアップ

固定

1. 車輪止め

Model Yは、静かに動きます。音がしないからといって電源がオフになっていると想定しないでください。Model Yはドライブまたはリバースにシフトしても、アクセルペダルを踏まなければ動かない場合があります。ただし、そうであるからといって、Model Yが動かないと想定しないでください。タイヤには必ず車輪止めをしてください。






2. 車両をパーキングにシフトする

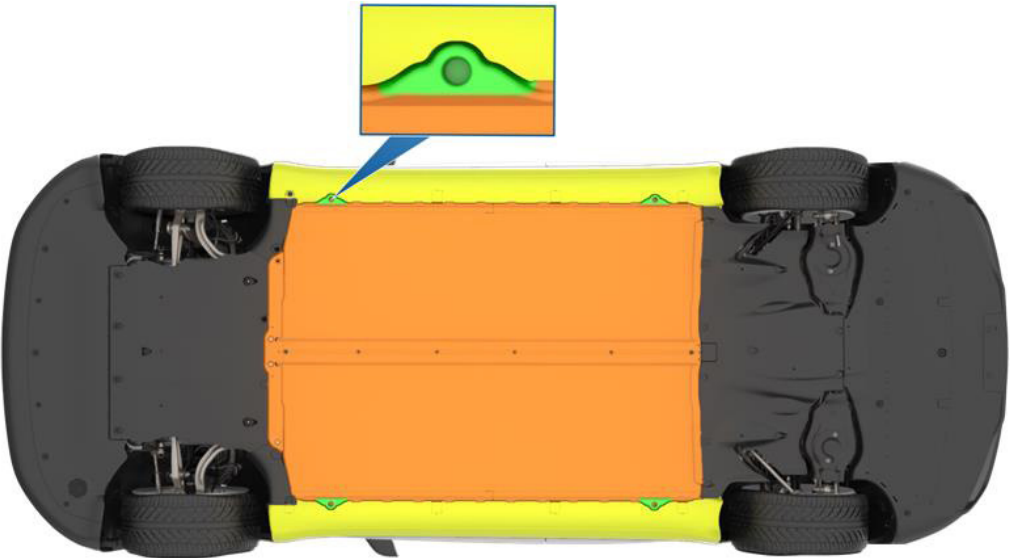
ギアがドライブやバックに入っている場合、アクセルペダルをわずかでも踏むと、Model Yは即座に加速します。パーキングブレーキが確実に作動していることを確認するには、タッチスクリーン上の「パーキング (P)」ボタンを長押しして、シフトをパーキングに切り替え、パーキング ブレーキを有効にします。また、オーバーヘッドコンソールにあるドライブモードセレクターの「パーキング (P)」ボタンを長押しすることでも同様に操作できます。Model Yがパーキングに入っているときは、パーキング ブレーキが自動的に作動し、タッチスクリーンにP (パーキング) と表示されます。






安定化 / ジャッキアップ ポイント

高電圧バッテリーはフロアパンの下に装備されています。車台の大部分にはこの高電圧バッテリーが収められています。Model Yをジャッキアップしたり固定させるときは、緑色に示されている指定されたジャッキアップ ポイントのみを使用してください。

- **警告** 車両を安定させる、またはジャッキアップする際には、バッテリー パックを傷つけないように注意してください。
- **警告** 1次緊急救援隊員がNFPA（全国防火協会）のトレーニングを受け技術者水準の資格を有し、車両のジャッキアップ ポイントに詳しい場合に限り、車両のジャッキアップを行い調節してください。車両をジャッキアップし調節している間は、高電圧バッテリーや他の高電圧コンポーネントに決して触れないように注意喚起を行ってください。
- **警告** 高電圧バッテリーを使用してModel Yをジャッキアップしたり、安定化したりしないでください。

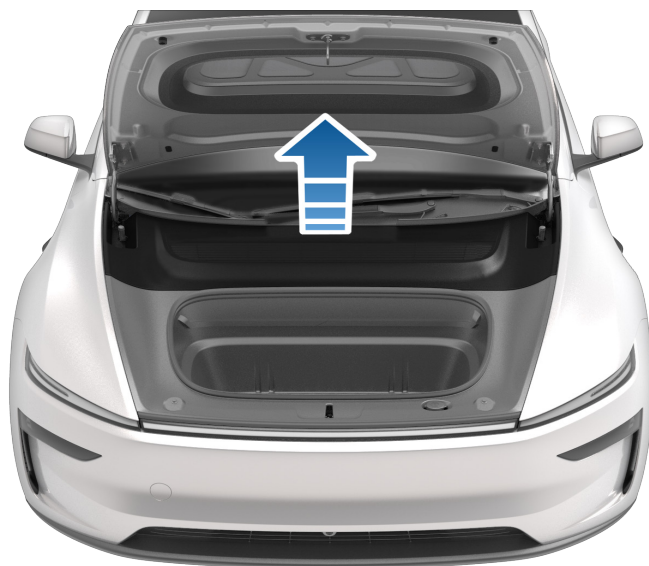


	適切なジャッキアップ ポイント
	Model Yの横にある安全な安定化ポイント
	高電圧バッテリー

3. 直接的な危険を無効にする / 安全規制

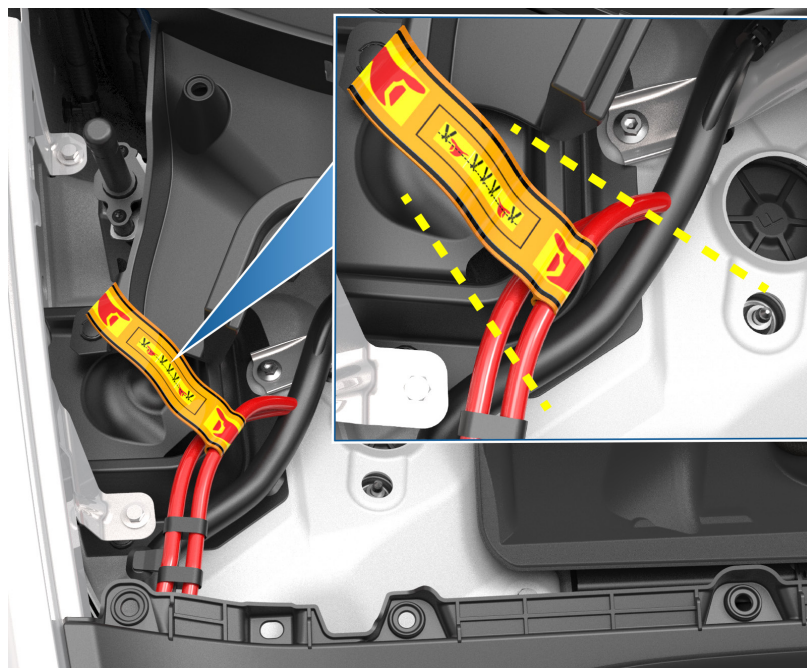
アクセス

1. フードを開きます (第4章「乗員へのアクセス」を参照)。
2. アクセス パネルを取り外すには、パネルを上方へ引いて、パネル固定用のクリップを外してください。



主な無効化方法

1. 高電圧遮断回路を2か所切断し、切断部分を取り外します。



警告 高電圧構成部品にラベルが付けられていない場合もあります。常に適切な個人用防護具 (PPE) を着用してください。高電圧遮断回路を必ず2箇所切断してください。高電圧 (HV) バッテリーを開こうとしないでください。



代替の無効化方法

1. Model Yの右側の固定式リアウィンドウを破ってください。
2. 内部配線を覆っているトリムを取り外します。
3. 高電圧遮断回路を2か所切断し、切断部分を取り外します。



完全な電源遮断

車両の完全な電源遮断を行うことで、低電圧システムおよび高電圧システムの電源が遮断されます。この操作により、すべての電気システムが無効になり、シートの移動やタッチスクリーン操作など、基本的な車両機能も使用できなくなります。なお、低電圧バッテリーのケーブルを切断するだけでは、システムの冗長設計により低電圧システムが完全に無効にならない可能性があります。確実に電源を遮断するには、高電圧遮断回路の切断が必要です。

1. フロントフード内またはリアクォーターウィンドウ後方にある高電圧遮断回路へアクセスします。
2. 高電圧遮断回路を2か所切断し、切断部分を取り外します。
3. 低電圧バッテリーのマイナスケーブルを2か所切断します。
4. 車両の電源遮断が完了するまで2分間待機します。



警告 無効化手順の有無に関わらず、すべての高電圧コンポーネントが通電状態にあることを常に想定して作業してください。高電圧コンポーネントの切断や破壊、接触があると、大怪我や死亡事故につながります。



警告 本書で推奨されている高電圧シャットダウン方法を使用する場合、高電圧電源はバッテリーに絶縁されます。高電圧バッテリーは常に通電しています。



高電圧遮断回路ケーブルの切断

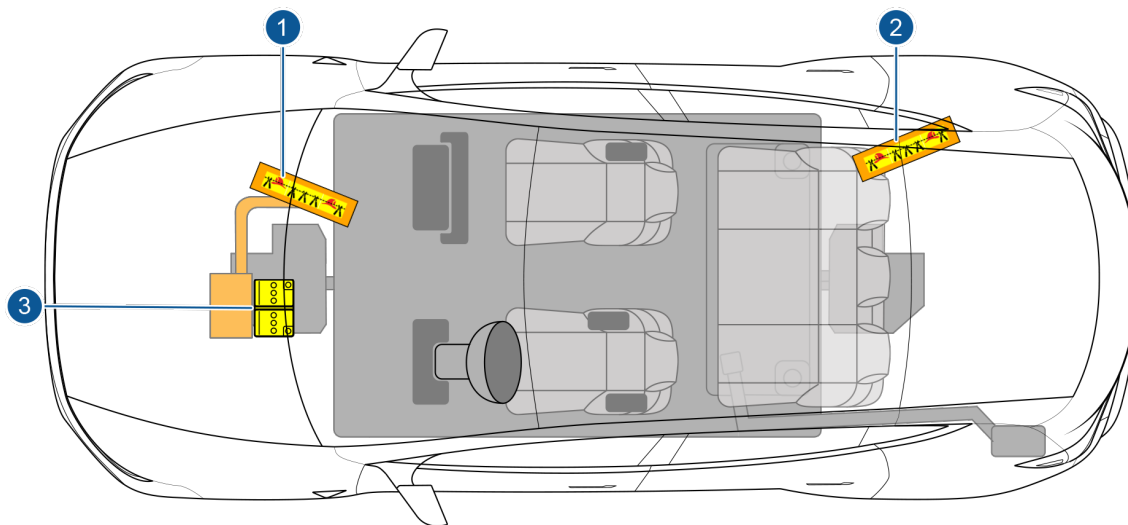
高電圧遮断回路を切断すると、エアバッグ回路への低電圧電源が遮断されます。また、高電圧遮断回路の切断により、高電圧バッテリーパック内部の高電圧コンタクターへの低電圧電源も遮断され、コンタクタが「オフ」または「開」の状態になります。低電圧バッテリーのケーブルを切断しただけでは、低電圧システム全体が無効化されるとは限りません。また、切断により車両のイモビライザー制御、シート操作、タッチスクリーン情報などの機能も使用できなくなる可能性があります。

主回路の高電圧遮断回路は、左ハンドル車の場合、助手席側のボンネット内に設置されています。右ハンドル車でも同様の位置に設置されています。右側後部座席の背面には、補助用の高電圧遮断回路が設置されています。

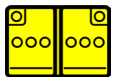
高電圧コンタクタは、照明スイッチのような働きをし、高電圧バッテリーと他の高電圧コンポーネントとの接続を制御します。コンタクタが「開」または「オフ」の状態では、高電圧はバッテリーパック内部にのみ存在します。一方、コンタクタが「閉」または「オン」の状態になると、バッテリーパックの電圧が他の高電圧コンポーネントに接続されます。Model Yには、高電圧で動作する部品として、前後のドライブユニット、エアコン用コンプレッサー、および必要に応じて充電ポートが含まれています。高電圧遮断回路を切断すると、高電圧コンタクタが開状態となり、高電圧はバッテリーパック内に隔離されます。

車両が事故に遭い、高電圧遮断回路が切断された場合、パックと高電圧コンポーネントが常に機能しているかのように扱ってください。これは、パックのセル内には蓄積されたエネルギーが残っており、他の高電圧コンポーネントが損傷している可能性があるためです。オレンジ色のケーブルとバッテリーパックはすべて、高電圧があるかのように扱ってください。オレンジ色の高電圧ケーブルを切断したり、バッテリーパックに切り込みを入れたりしないでください。

車が事故に遭った場合、バッテリーパックの中にあるエネルギーを瞬時に放電する方法はありません。バッテリーセルにはエネルギーが蓄積されています。乗員を救出する際には、バッテリーパックが破損しないように注意してください。



1. 主用の電源遮断ループ
2. 補助用の電源遮断ループ
3. 16V低電圧バッテリー



低電圧バッテリーへのアクセス

車のフードを開けると、フロント ガラス横のアクセス パネルの下から低電圧バッテリーにアクセスできます。必要に応じて、バッテリーのマイナス ケーブルを2箇所切断して低電圧バッテリー回路を開いてください。マイナス側のケーブルを2か所切断する際には、プラス端子とマイナス端子のケーブルを同時に切断しないよう、十分に注意してください。両方のケーブルを同時に切断すると、低電圧バッテリーがショートするおそれがあります。



充電中の車両の無効化

車両を無効化する前に、必ず充電ケーブルを取り外してください。キャビンにアクセスできる場合は、タッチスクリーンで「コントロール」>「充電」>「充電ポートを解除」を選択します。車両がロック解除されているか、ペアリング済みのキーが近くにある場合は、Tesla製充電ケーブルのボタンを長押しすることで、車両にアクセスせずにケーブルを取り外すことも可能です。

充電ケーブルが損傷している、またはロックされているために取り外せない場合は、まず充電ステーションの電源を遮断します。その後、高電圧遮断回路を2か所切断して車両を無効化します。



警告 充電ステーションに電源が入った状態で、充電ケーブルを切断しないでください。電源が供給されたまま充電ケーブルを切断すると、電気火災が発生したり、重大な負傷を引き起こすおそれがあります。

手動で充電ケーブルを外す

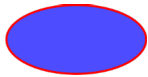
充電ケーブルが取り外せず、充電ステーションも無効化できない場合は、ケーブルを切断する代わりに手動で充電ケーブルを解除することができます。

1. リアトランクをアクセスします。
2. 充電ポート取り外しケーブルを下向きに引き、充電ケーブルのラッチを外します。
3. 充電ケーブルを充電ポートから引き抜きます。



警告 充電ポートから充電ケーブルを引き抜こうとしているときに同時にリリースケーブルを引かないでください。リリースケーブルは必ず充電ケーブルを引き抜く前に引いてください。これらの指示に従わないと、感電および深刻な怪我をする恐れがあります。





エアバッグ

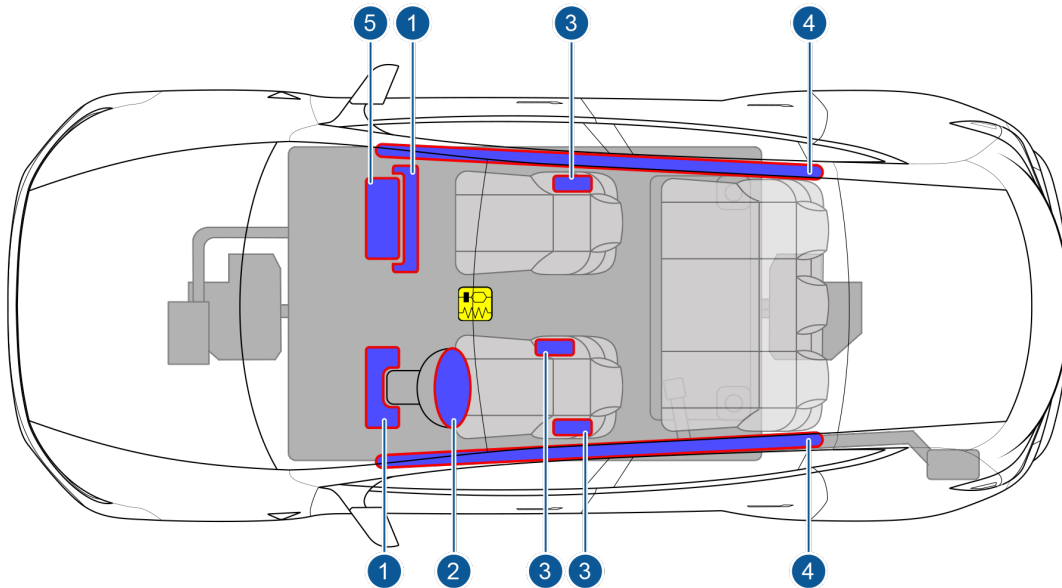
エアバッグは下図に示す位置に設置されています。エアバッグについての注意事項は、サンバイザーに表示されています。

エアバッグが拘束具コントロールモジュール (RCM) によって展開されると、車両の高電圧システムを非アクティブ化するパイロテクニクヒューズが同時にトリガーされます。

Model Yは、エアバッグが展開した時に高電圧バッテリーの外にあるあらゆるコンポーネントとケーブルを無効にするよう設計されています。オレンジ色の高電圧ケーブルを切断したり、バッテリー パックの内部にアクセスしたりしないように注意してください。エアバッグが作動して高電圧システムが停止しても、高電圧ケーブルやコンポーネントには高電圧が存在する可能性があることを常に想定してください。バッテリー パック内のバッテリーセルにはエネルギーが蓄積されているため、レスキュー ツールでバッテリー パックを損傷しないでください。

エアバッグに電力を供給する低電圧回路を開くために、電源遮断ループを切断する必要があります。詳細については、「電源遮断ループ」のセクションを参照してください。

メモ：北米の左ハンドル車両を表示。右ハンドル車では、コンポーネントは逆になります。



1. ニー エアバッグ
2. ハンドル エアバッグ
3. シート取り付けサイド エアバッグ
4. カーテン エアバッグ
5. 助手席エアバッグ



警告 RCMには内部電源が備わっており、高電圧および低電圧の両方の電源が遮断された後も、最大で10秒間は通電状態が維持されます。この10秒間は、RCMに触れないでください。

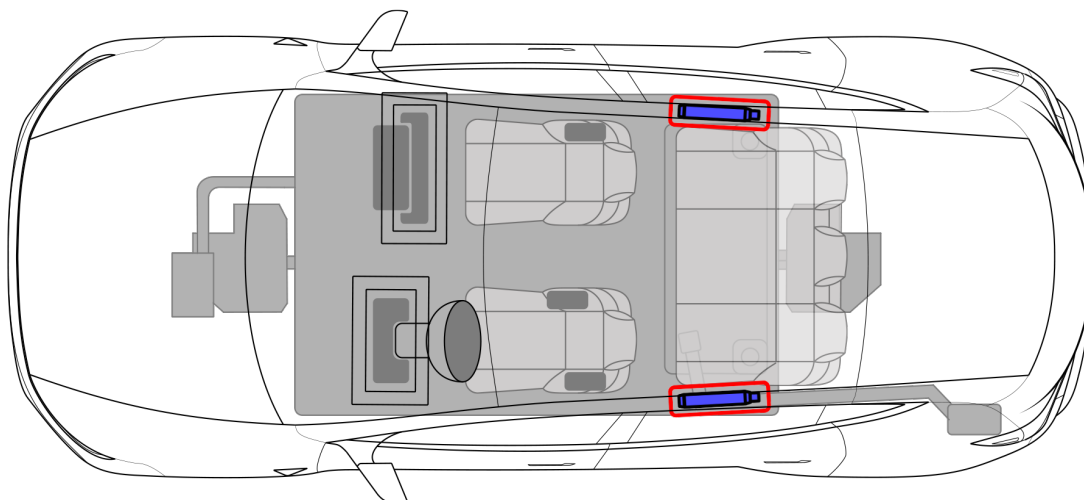


ニー エアバッグは北米(メキシコの除く)と台湾仕様にのみ搭載されています。



充填ガス インフレーター

充填ガス インフレーター (赤枠) は、車両のルーフ付近と後部に設置されています。



警告 救助者は、インフレーターを切ったり潰したりしてはいけません。シリンダーを切断または圧縮すると、致命的な障害が発生し、重傷事故や死亡事故につながる可能性があります。

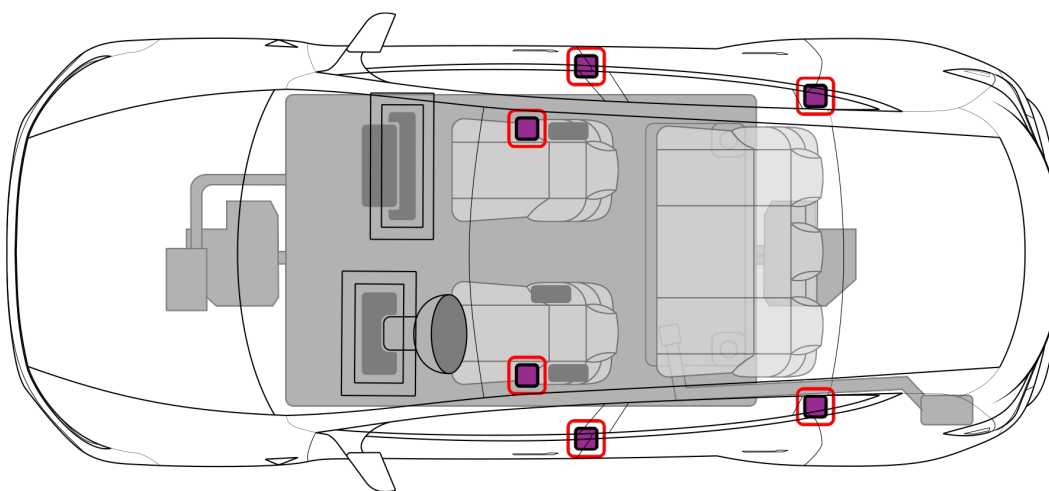


警告 RCMには、バックアップ電源が搭載されており、放電時間は約10秒間です。エアバッグまたはプリテンショナーが展開してから10秒間は、RCMに触れないでください。



シートベルト プリテンショナー

赤で示してあるシートベルト プリテンショナーはBピラーの上下に配置されています。さらに、2列目シート外側にも追加のシートベルトプリテンショナーが設置されています。





アクティブボンネット

アクティブフード歩行者保護システムは、安全機能の一つであり、車両が約30～52 km/h (18～32 mph) で走行中に歩行者との衝突を検知することができます。作動時には、パイロテクニックアクチュエーターによってフード後部が持ち上げられ、フードとその下部のコンポーネントとの間にスペースが確保されます。

アクティブフードが装備されている車両では、パイロテクニックアクチュエーターはフロントフード内、フロントガラスの根元付近に設置されています。

メモ：パイロテクニックアクチュエーターは、動物や他の車両、物体との衝突時にも作動する可能性があります。

メモ：アクティブボンネットは、市場や車両仕様によっては搭載されていない場合があります。



警告 救助者は、パイロテクニックアクチュエーターを切ったり潰したりしてはいけません。アクチュエーターを切断または圧縮すると、致命的な障害が発生し、重傷事故や死亡事故につながる可能性があります。

4. 乗員へのアクセス

メモ：シートとハンドル、インテリアのドア ボタンは電動式のため、衝突後に機能しなくなる可能性があります。低電圧電源が供給されていない場合、ハンドルの操作が重くなります。

メモ：衝突後、ドアやトランクのロックが外部から解除されない可能性があります。激しい衝突では、ドアの機構が損傷し、開閉が困難になる可能性があります。乗員の救出が必要な場合があります。

電力のある状態でドアを車外から開ける

外側からModel Yのドアを開けるには、ドアハンドルの幅の広い部分を内側に押してからドアを引いて開きます。

メモ：ドアハンドルが機能しない場合は、ウィンドウの内側に手を入れて機械式ハンドルを使って手動でドアを開けます。「電力のない状態でフロント ドアを車内から開ける」をご参照ください。



電力のある状態でドアを車内から開ける

低電圧電源が有効な状態でModel Yのドアを内側から開けるには、ドアパネル付近のボタンを押します。



電力のない状態でフロント ドアを車内から開ける

低電圧電力なしでModel Yのフロントドアを内側から開くには、ウィンドウスイッチの近くにある機械式リリースハンドルを持ち上げます。



電力のない状態でリア ドアを車内から開ける

低電圧電力なしでModel Yのリア ドアを内側から開く方法

1. リア ドア ポケットの下部、リリース カバーの前にスロットがあります。スロットに指を入れて、カバーを取り外します。
2. メカニカル リリース ケーブルを前方に引きます。



手動ドア リリースは、車両の電力がない場合に限り使用することを想定して設計されています。衝突で運転席または助手席のフロント ドアが損傷した車両では、機械式リリース ハンドルが設計通りに動作しない可能性があることを知っておくことも重要です。また、車両事故は状況ごとに異なるため、車内にアクセスするには救出作業が必要になる場合があります。



低電圧電源でトランクの開ける

トランクに開けるには以下のいずれかの方法を使用してください。

1. タッチスクリーンでトランクに対応する「開く」ボタンをタッチします。
2. トランクのエクステリア ハンドル下側にあるスイッチを押します。





電力のある状態でフロント シートを動かす

Model Yには、ドアに最も近いシートの側面にあるボタンで動く電動シートがあります。これらのボタンは、低電圧電源が有効な場合にのみ動作します。

高電圧遮断回路を切断した後でも、低電圧システムが正常であれば引き続き使用可能です。



1. シートを前後に動かし、シートの高さを調節し、傾斜角を増減させます。
2. バックレストを調整します。
3. ランバー サポートを調整します。



電力のある状態でフードを開ける

Model Yは従来の内燃機関エンジンを搭載していません。通常エンジンを格納するスペースを予備の収納スペースとして提供しています。把テスラはこのエリアを「フロント トランク」または「フランク」と呼び、改成Teslaでは、この部位を「フロント トランク」または「フランク (Frunk)」と呼んでいます。

低電圧電源を有効にしてフードを開くには、タッチスクリーン上の「開く」ボタンをタッチします。



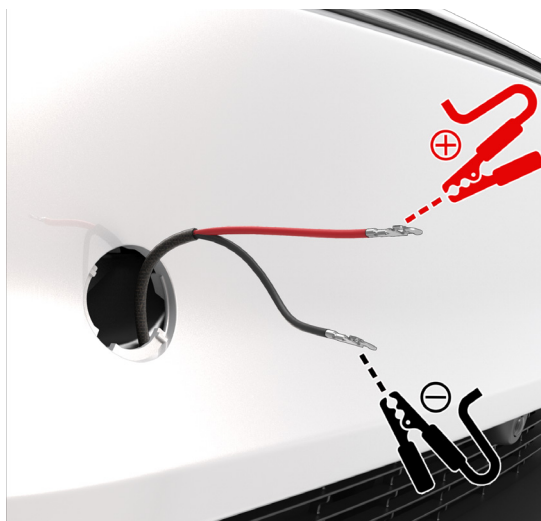
低電圧電源を使用してフードを開く

低電圧電源が使用できない場合、フードにアクセスして高電圧遮断回路を切断するために、外部の低電圧電源が必要になることがあります。Model Yがロックされていて低電圧電源が供給されている場合、この方法ではフロントトランクを開くことはできません。ジャンパー ボックスなどの外部電源を使用してください。

1. 牽引ボルト カバーの右上を強く押してカバーを外し、持ち上がった部分を手前に引いてください。



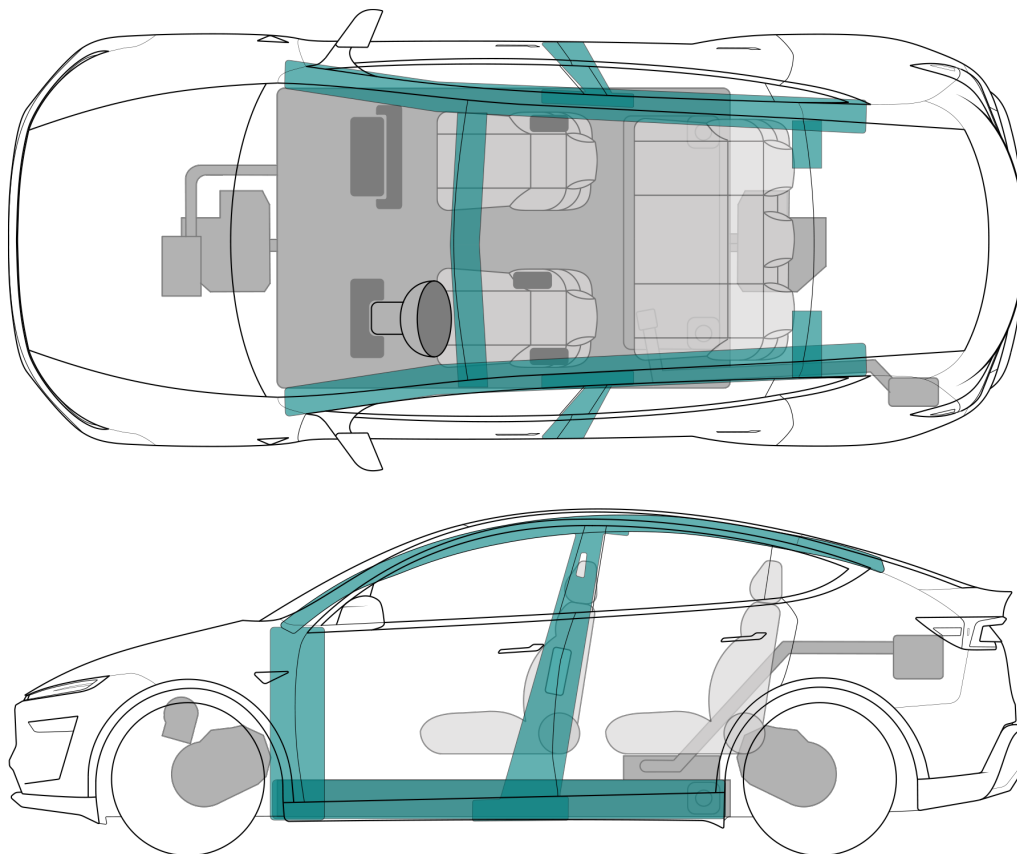
2. 2本の配線を牽引ボルト用開口部から引き出して、車両側の端子を露出します。
3. 外部低電圧電源装置の赤色プラス (+) 側ケーブルを車両側の赤色プラス (+) 側の端子に接続します。
4. 外部低電圧電源装置の黒色マイナス (-) 側ケーブルを車両側の黒色マイナス (-) 側の端子に接続します。



5. 外部電源をオンにします（製造元のメーカーの取扱説明書を参照）。フードラッチがすぐにリリースされ、フードを開けてフロント トランク部にアクセスすることができます。
6. 黒色マイナス (-) ケーブルから始めて外部電源ケーブルを外します。

高強度範囲

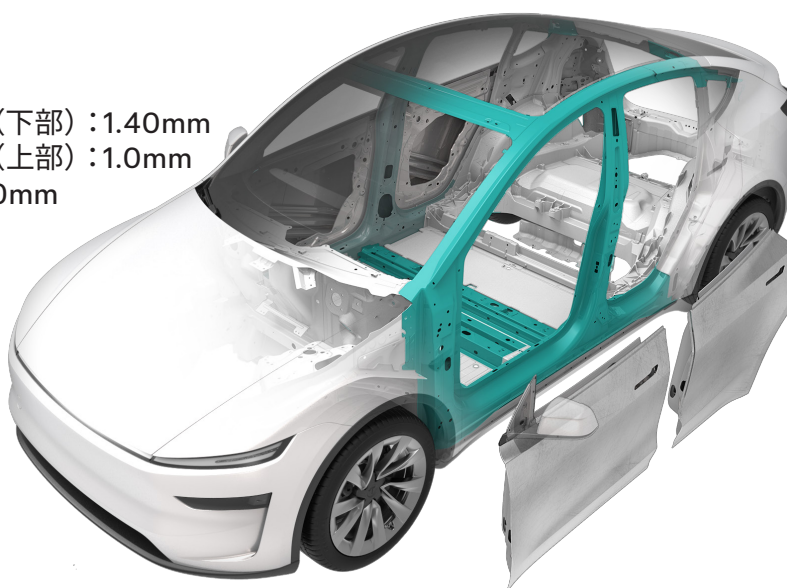
Model Yは衝突時に乗員を保護するために、剛性を強化しています。使用箇所を切断または破壊するには適切なツールを使用してください。下図では、補強箇所が青緑色で示されています。



Model YのAピラー、Bピラー、フロントドアリング、およびオーバーヘッドレールには、高張力補強鋼板が使用されています。車両のドアにはアルミニウムが使用されています。その他の車体構造コンポーネントは、様々な強度のスチールまたはアルミニウムで構成されています。

高張力鋼板の最大板厚：

1. アウター ドア リング1.80mm
2. インナー ドア リング2.0mm
3. フロント オーバーヘッドレール（下部）：1.40mm
4. フロント オーバーヘッドレール（上部）：1.0mm
5. リア オーバーヘッドレール：1.40mm





警告 Model Yを切断する場合、適切なツール（油圧カッターなど）を使用し、必ず個人用保護具（PPE）を着用してください。この指示に従わない場合、大怪我や死亡事故につながる恐れがあります。

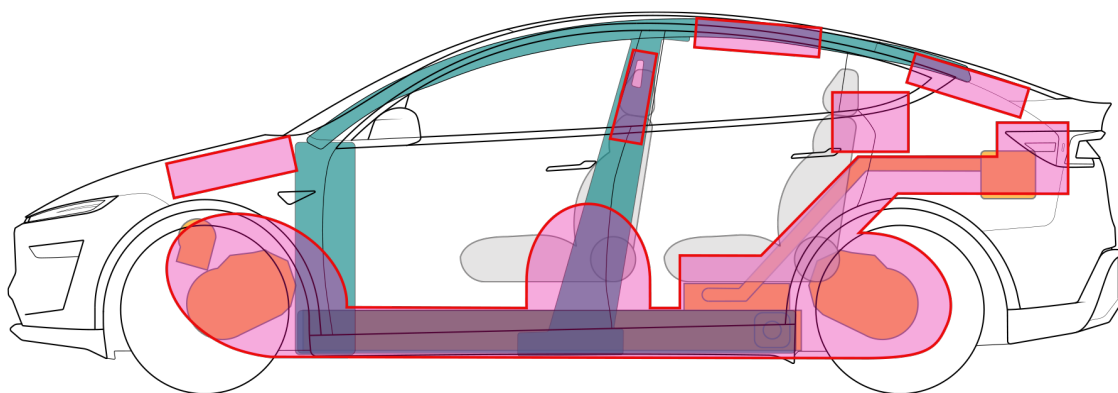


警告 無効化手順の有無に関わらず、すべての高電圧コンポーネントが通電状態にあることを常に想定して作業してください。高電圧コンポーネントの切断や破壊、接触があると、大怪我や死亡事故につながります。

切断禁止ゾーン

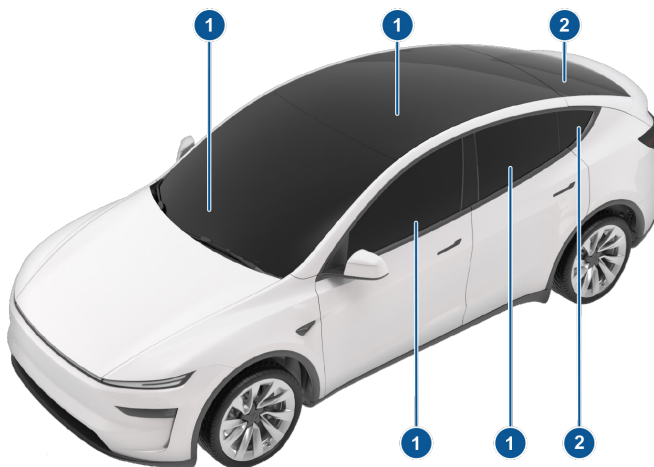
Model Yには、高電圧、ガストラット、SRS コンポーネント、またはその他の危険性が存在するため「切断禁止エリア」と定義された領域があります。これらのゾーンを絶対に切断したり、破壊したりしないでください。これに従わないと、重大な怪我や死亡事故につながる恐れがあります。「切断禁止ゾーン」はピンクで示されています。

メモ：下図はデュアルモーター車両を表します。フロント ドライブ ユニットなしの車両はこれと似ています。



ウィンドウ

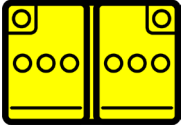










Model Yのフロント ガラス、ルーフ ガラス、可動式ドア ウィンドウには、合わせ安全ガラスが使用されています。リフトゲートのバックライトおよび固定式のリアクォーターウィンドウには、強化安全ガラスが使用されています。



1. 合わせ安全ガラス
2. 強化された安全ガラス

メモ：合わせ安全ガラスを切断する際には、多量のガラス粉塵が発生する可能性があります。合わせ安全ガラスを切断する際は、乗員および作業員の両方に対して、追加の呼吸用保護具（PPE）の使用を検討してください。

5. 蓄積されたエネルギー / 液体 / 気体 / 固体

	  	16V
	     	400V

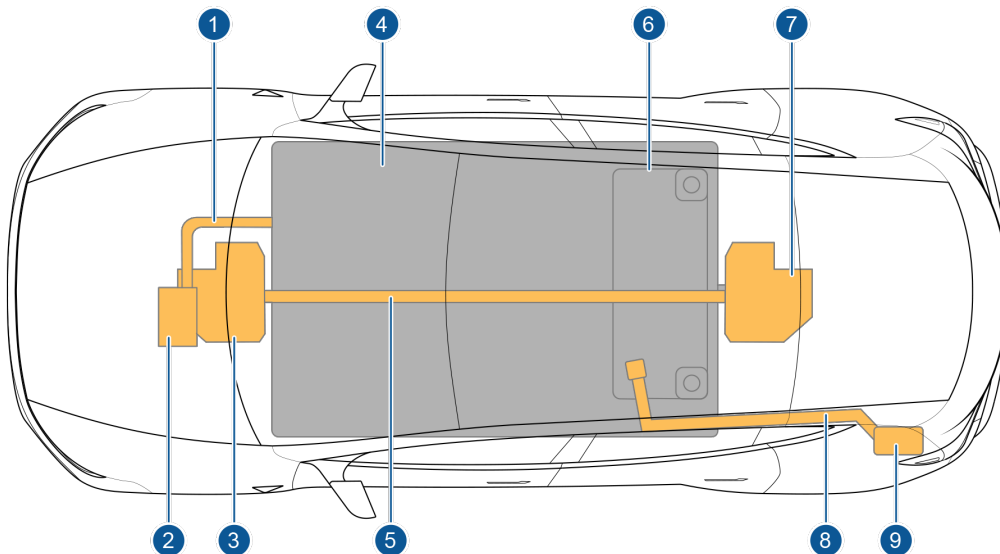


警告 透明な液体は水と思われます。バッテリー電解液は無色透明ですが、セルは密閉されており、各セルに含まれる電解液の量は限られています。クーラントは青またはオレンジ色です。

メモ：下図はデュアルモーター車両を表します。フロント ドライブ ユニットなしの車両はこれと似ています。



高電圧コンポーネント

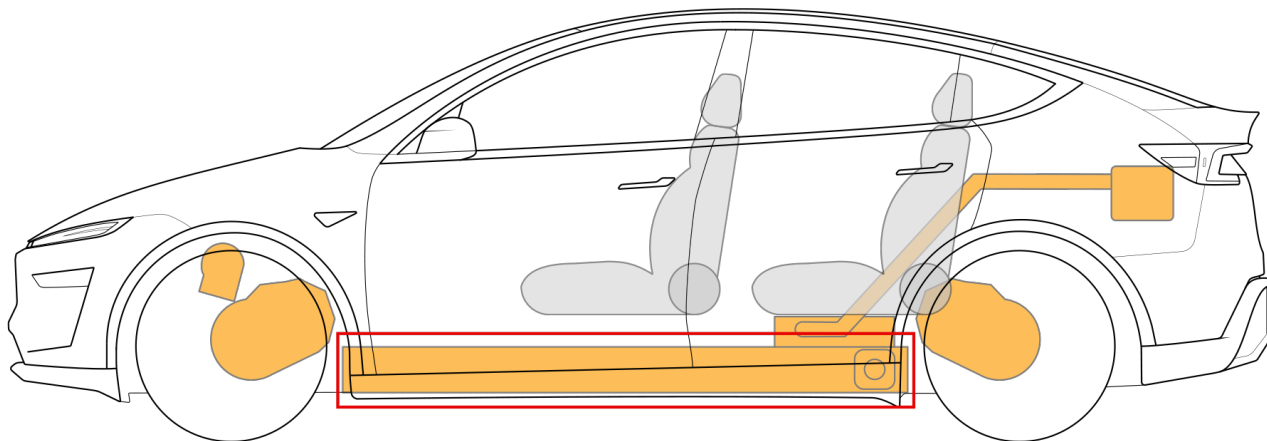


1. 高電圧ケーブル配線
2. エアコン用コンプレッサー
3. フロント モーター (デュアルモーター車両のみ)
4. 高電圧バッテリー
5. 高電圧ケーブル配線
6. 高電圧バッテリー サービス パネル
7. リア モーター
8. 高電圧バスバーおよびケーブル
9. 充電ポート



高電圧バッテリー パック

Model Yには、フロアにマウントされた400Vリチウムイオン高電圧バッテリーが搭載されています。バッテリーは、冷却液で液冷された多数のセルで構成されています。車両の衝突によってバッテリー パックが損傷した場合、青またはオレンジ色のクーラントが漏れることがあります。バッテリー セルにはエネルギーが蓄積されています。車両の下部をリフトする際にこの高電圧バッテリーに決して損傷を与えないように注意してください。レスキューツールを使用する際には、フロアパンを損傷しないように特に注意してください。車両を正しく持ち上げる方法については、第2章「ジャッキアップ ポイント」を参照してください。



フロアパンへの荷重

高電圧バッテリーはフロアパンの下に装備されているため、高電圧バッテリー パックは、レスキュー ツールなどで破損されないように注意してください。

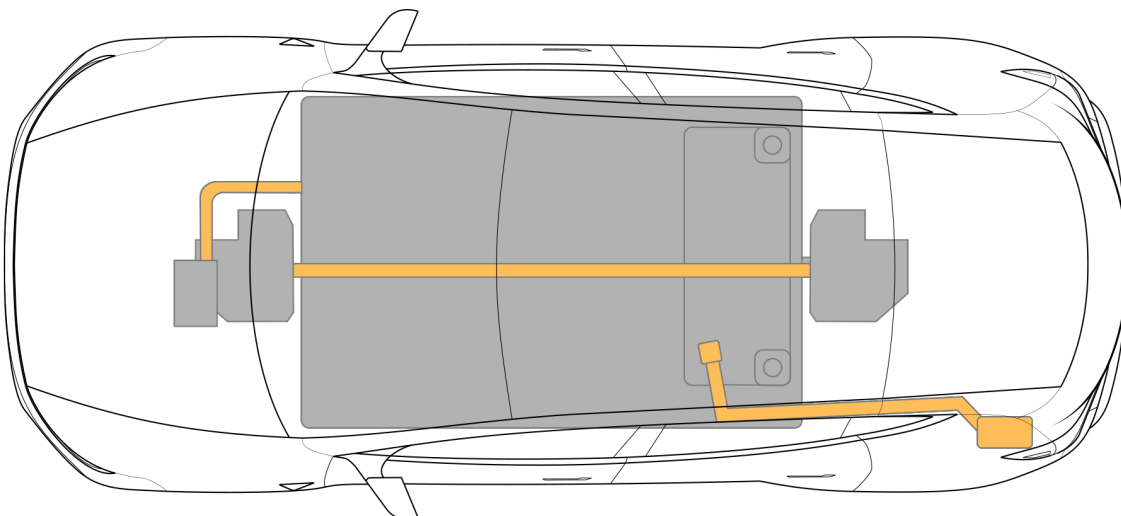


警告 Model Yの内側からフロア パンを押さないでください。さもないと、高電圧バッテリーが破壊されたり、高電圧ケーブルが損傷されたりして、大怪我や死亡事故につながる恐れがあります。



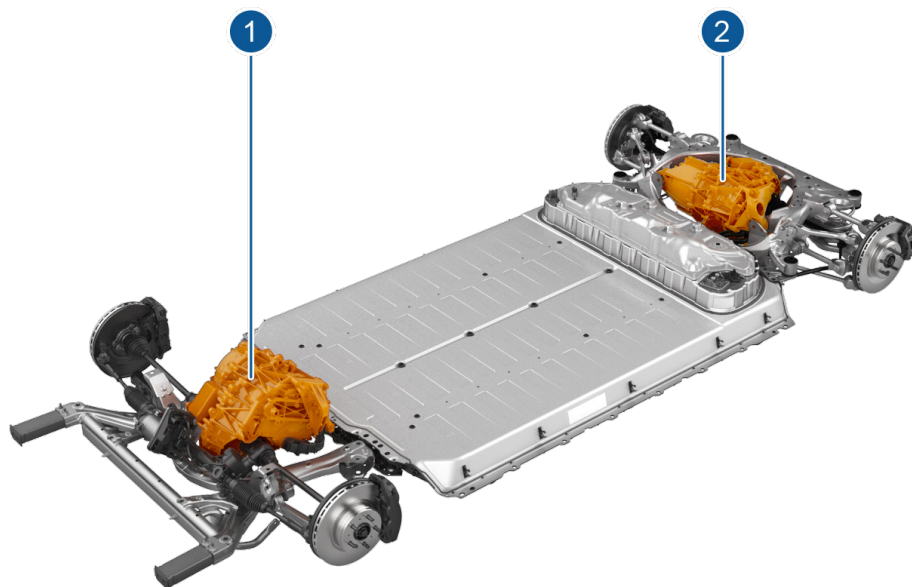
高電圧電力ケーブル/バスバー/構成

高電圧ケーブルおよびバスバーは、オレンジ色で示されています。また、バッテリーパックの下側には、高電圧ケーブルおよびバスバーが保護用の押し出し材を介して通っています。この高電圧コンポーネントをレスキュー ツールで傷つけないでください。オレンジ色の高電圧ケーブルには、常に高電圧がかかっている可能性がありますと想定してください。

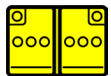


ドライブ ユニット

リア ドライブ ユニットは、リアホイールの間に搭載されています。フロント ドライブ ユニット（搭載されている場合。デュアル モーター車両のみ）は、フロントホイールの間に搭載されています。ドライブ インバーターはドライブ ユニットの間にあります。ドライブ ユニットは、高電圧バッテリーからの直流（DC）をドライブユニットがホイールを動かすために使用する交流（AC）に変換します。

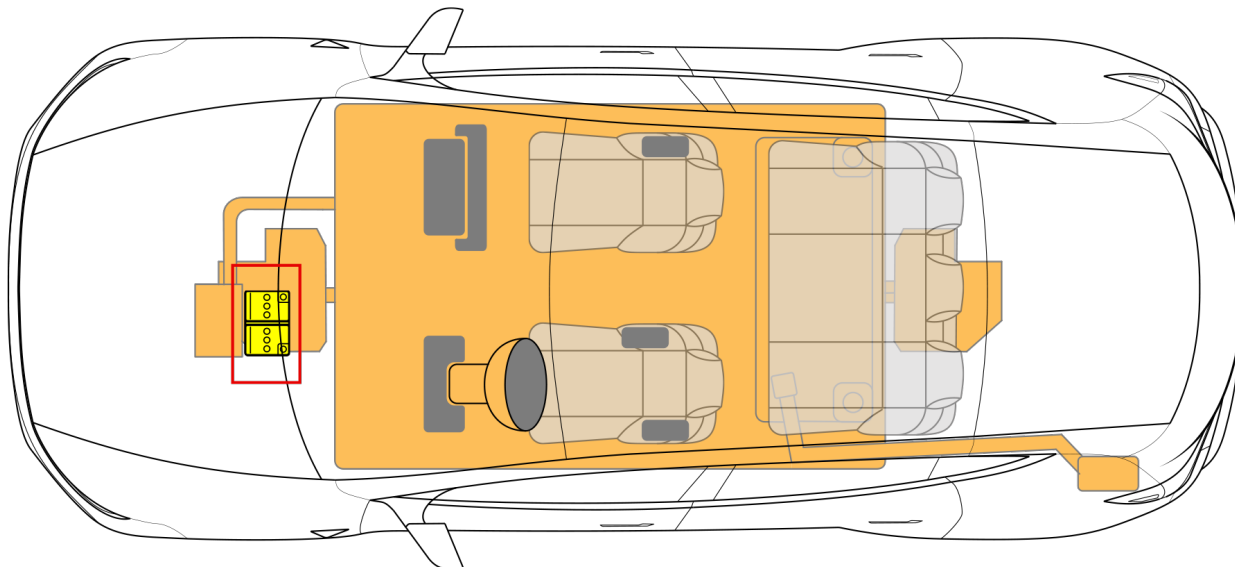


1. フロント ドライブ ユニット
2. リア ドライブ ユニット



低電圧バッテリー パック

Model Yには、高電圧システムに加えて低電圧電気システムがあります。低電圧電気システムのバッテリーは、高電圧システムによって充電されます。低電圧バッテリーは、拘束システム、シート、エアバッグ、ウィンドウ、ドアロック、タッチスクリーン、インテリアおよびエクステリアのライト類を動作させます。赤色ラインで示された低電圧バッテリーは、ボンネットとプラスチック アクセスパネルの下に設けられています。



警告 低電圧バッテリーのケーブルを切断しても、必ずしも低電圧システムが無効化されるとは限りません。Model Yは、高電圧システムを利用して低電圧システムに電力を供給する冗長構成になっています。



1. 電源遮断ループ
2. 低電圧バッテリー

6. 火災の場合

消火作業



バッテリーの火を消す/冷やすために車両を水没しないでください



大量の水を使用してください



バッテリーが再発火する可能性があります。

HVバッテリーの温度を少なくとも24時間監視してください



高電圧バッテリーの消火には水を使用してください。バッテリーが燃えたり、高温にさらされたり、熱やガスを発生している場合は、水でバッテリーを冷却してください。バッテリー火災を完全に消火して冷却するには、約3,000～8,000ガロン（11,356～30,283 リットル）の水が必要なため、常に早めに確実な給水を確認するか追加の給水を手配してください。消火用水がすぐに入手できない場合は、水が確保されるまで、CO2、粉末消火剤やその他の消火剤を使用して消火します。

メモ：Teslaは、電気自動車への発泡剤の使用を推奨していません。

バッテリーに直接水をかけてください。可能な場合には、車両を持ち上げて傾け、バッテリーに直接触れるようにしてください（第2章を参照）。自然開口（通気口や衝突による開きなど）がすでに見られる場合にのみ、安全な距離から水をかけてください。冷却目的のためにバッテリーを開けないでください。

Teslaは、水で満たされた大きな容器に車両を置くことを推奨していません。冷却中のバッテリー温度を監視するために、赤外線カメラ（TICまたはIR）の使用を推奨します。赤外線カメラが示すバッテリーの温度が常温以下になるまで、水の使用を続けてください。赤外線カメラを使用する場合は、バッテリー内の熱がバッテリー エンクロージャに伝わるように、水の適用を停止してから十分な時間をとってください。

高電圧バッテリーに影響を及ぼさない小さな車両火災を消火する場合は、通常の車両消火手順を採用してください。

消火中は、絶対に高電圧コンポーネントに接触しないでください。消火には必ず絶縁工具を使用してください。



発熱や炎の影響で、エアバッグ インフレーター、充填ガス インフレーター、ガス ストラット、その他のコンポーネントで、予期しない過剰な熱を発生させ、インフレータの爆発を引き起こす可能性があります。火災が発生した場合は、高温域に入る前に適切な消火活動を行ってください。



バッテリー火災は完全に冷えるまで最大24時間要する場合があります。すべての火災と煙が沈静化した後、赤外線カメラを使用して高電圧バッテリーの温度を測定し、加熱または冷却の状態を監視することができます。高電圧バッテリーに最低でも45分、火、煙、音、または加熱がないことを確認するまで、車両を2次対応者（法執行機関、車両運搬者など）に引き渡さないでください。バッテリーは、車両を2次対応者に引き渡す前に完全に冷却されていなければなりません。

バッテリーが再び発火するリスクは常に存在します。車両内の水を排出するために、車両前方を約30cm（1フィート）持ち上げるか、前方に傾けます。これにより、再度発火する可能性が緩和されます。

再度発火する恐れがあるため、Model Yが水没、火災、衝突に巻き込まれ高電圧バッテリーが破損した場合は、必ず15メートル（50フィート）以内に炎などの危険のない空地に保管してください。



警告 消火中には、車両に電力が供給されていると想定してください。必ず、自給式呼吸器（SCBA）を含む完全なPPE（個人用保護具）を着用してください。

高電圧バッテリー - 火災による損傷



従来の自動車をはじめとする電気自動車やハイブリッド車と同様に、バッテリーが燃焼すると、過熱したガスや有毒ガスが放出されます。この放出は、揮発性有機化合物、水素ガス、二酸化炭素、一酸化炭素、すす、およびニッケル、アルミニウム、リチウム、銅、コバルトおよびフッ化水素の酸化物を含有する粒子を含んでいる可能性があります。救援隊員は、SCBAを含む完全なPPEを必ず着用して自分達を保護し、一般の人が風下で蒸気にさらされないように適切な手段を講じる必要があります。



高電圧バッテリーに損傷があると、バッテリーセルの温度が急激に上昇する場合があります。高電圧バッテリーから煙、蒸気が出ているか、音が聞こえる場合には、バッテリーが高温になっていると判断して上記の手順に従って適切な措置を講じてください。

7. 水没の場合

Model Yが水没した場合は、他の水没した車両と同じように取り扱います。水没により、Model Yの車体の感電リスクが高まることはありません。水没車両を扱う時は水難救助に適したPPEを着用してください。車両を水から引き上げた後は、第3章に記載されている通常の電源遮断手順を行ってください。

水没または浸水した車両は、電気火災の危険性があるため、取り扱いには十分な注意が必要です。無効化処置を完了した後、車両の前方を約30cm (1フィート) 持ち上げることで、車両および高電圧バッテリーパック内の水を排出します。

水没または浸水した車両は、搬送および保管の際に特別な注意が必要です。牽引のために車両を積載する際には、サーマルイメージングカメラまたは赤外線カメラ (TICまたはIR) を使用して、バッテリー温度の監視およびホットスポットの有無を確認し、搬送が完了するまで継続的に監視してください。車両は、他の車両や建物から15メートル (50フィート) 以上離れた屋外に保管してください。



警告 塩水に水没または浸水した車両には、泡消火剤を使用しないでください。塩水を含んだ状態で泡消火剤を使用すると、電気火災のリスクが高まるおそれがあります。

8. 牽引 / 輸送 / 保管

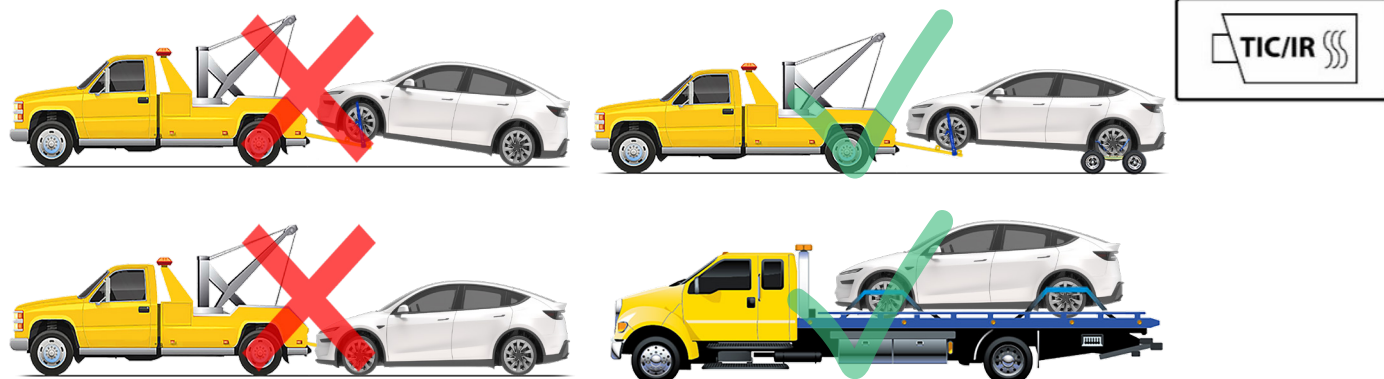
Model Yのリア モーターは回転させると発電します。お客様の車両の輸送時は必ず4本のタイヤすべてを地面から離してください。輸送中はタイヤが回転しないことを確認してください。



警告 タイヤが回転してしまうような状態では絶対に車両の輸送を行わないでください。重大な損傷または過熱につながる恐れがあります。まれにはありますが、極度に加熱すると周りのコンポーネントに引火する恐れがあります。



警告 バッテリーが再発火する可能性があります。火災が発生した後は、他の車両や構造物から安全な距離（15メートル（50フィート））をおいて屋外に保管してください。



輸送に推奨されるのは、ロールバックトラックまたは同等の輸送車両です。平ボディトラック使用時は、前後どちらの方向で載せても構いません。ロールバックトラックを使用しないで車両を輸送する必要がある場合は、タイヤ スケートを使用してタイヤを持ち上げてから輸送してください。この方法は、タイヤ スケートのメーカーの定格速度を超えてはいけません。この方法を使用する場合、Teslaはフロントタイヤを浮かせて、リアタイヤにタイヤ スケートを履かせて車両を前向きにすることを推奨しています。

メモ：平ボディトラックに車両を乗せる際や位置を変えるために駐車場から車両を引き出す際には、牽引モードが有効になっている場合のみ、時速5 km/h (3mph) 以内、かつ30フィート（10メートル）以内であればタイヤを回転させることが可能です。これに従わないと、車両に保証の対象とならない重大な損傷および過熱を与える恐れがあります。

メモ：車両をウィンチを使用して平ボディトラックに載せる前に、車両のタッチスクリーンで牽引モードを有効にしてください。牽引モードが使用できない、またはタッチスクリーンが利用できない場合は、必ずセルフローディングドリーまたはタイヤスクートを使用して、認定された輸送位置に車両を積載してください。Teslaは、セルフローディングドリーまたはタイヤスクートを使用したことに起因する個人財産の損害など、お客様の車両の輸送が原因となるいかなる損害についても責任を負いません。



警告 車両には、衝突により損傷する可能性のある高電圧コンポーネントが取り付けられています。輸送する前に必ず、コンポーネントが通電されている前提で作業を行ってください。緊急対応する専門業者が車両の安全を確認しすべての高電圧システムに電圧がかかっていないことを正確に確認するまで、必ず高電圧安全注意事項（個人保護具の着用など）に従ってください。これらを怠ると重大な事故につながる恐れがあります。

車両を押す



警告 以下の説明は、交通の安全を高めるためにModel Yをごく短距離移動させるときに使用することを目的としています。Model Yの輸送方法の詳細については、タッチスクリーン上のオーナーズ マニュアルを参照してください。車両の輸送によって生じた損傷は保証の対象外になります。



警告 Model Yがニュートラルまたは牽引モードになっていない状態で車両を押すと、リア モーターが過熱する恐れがあります。また、電気コンポーネントが露出している場合、高電圧遮断回路が遮断されていても感電する恐れがあります。

火災や高電圧の危険性が少なく（たとえば、交差点で停車した後に車両が発進しないなど）低電圧電源がある場合は、Model Yを道路から迅速に押して路肩に寄せることができます。運転者がいる場合は、タッチスクリーンのドライブモードバーでModel Yをニュートラル (N) にシフトし、そのまま車両を押してください。ドライバーが運転席にいない場合、Model Yは（ニュートラルにギアを切り替えた直後でも）ドライバーが車両を離れたことを検知すると、自動的にパーキングに切り替えます。

ドライバーが運転席にいても、Model Yを「ニュートラル」の状態に保つ（パーキングブレーキを解除し、車両を押せるようにする）には、タッチスクリーンから「牽引モード」を有効にしてください:

1. タッチスクリーンのドライブストリップまたはオーバーヘッドコンソールで「パーキング (P)」を長押しして、Model Yがパーキングに入っていることを確認してください。
2. ブレーキペダルを踏み込んだままタッチスクリーン上で「コントロール」>「サービス」>「牽引」の順にタッチします。
3. 青色に変わるまで「牽引モードに入る」ボタンをタッチし続けます。Model Yのブレーキが解除され、押して動かす（歩行する速度以下）またはウィンチで引き上げることができます。

牽引モードをキャンセルするには、Model Yをパーキングにシフトしてください

メモ: 「牽引モード」を有効にするには、Model Yが近くにキーを検出し、低電圧電源が使用可能である必要があります。

メモ: Model Yが時速8 km/h (5 mph) 以上で移動するか、低電圧電源が失われた場合、「牽引モード」は自動的に解除され、パーキングブレーキが作動します。Model Yは、牽引モードがキャンセルされる直前にホーンを鳴らします。

メモ: Model Yがキー（認証されたスマートフォンやキー）を検出できない場合、牽引モードのボタンはグレー表示になり、有効にすることができません。Tesla ロードサイドアシスタンスに連絡します。

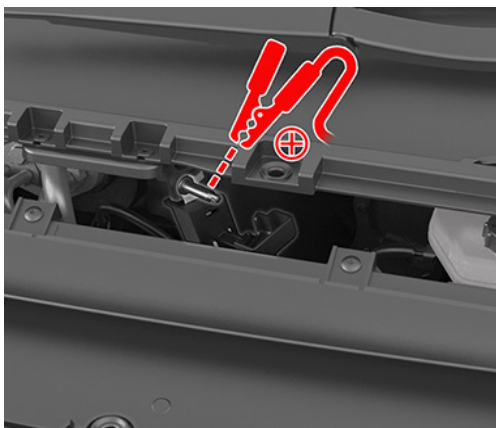
メモ: Model Yに低電圧電源がない場合、タッチスクリーンは反応しません。外部低電圧電源供給を使用してフードを開き、車両の補助低電圧バッテリーを使用してジャンプ スタートさせます。手順については、オーナーズマニュアルを参照するか、Teslaロードサイドアシスタンスにお問い合わせください。

メモ: エアバッグが展開している場合、Robotaxiを運転することはできません。牽引モードを有効にできない限り、車両を押したり移動させたりしないでください。それ以外の場合は、まず車輪を輸送用に確実に固定する必要があります。

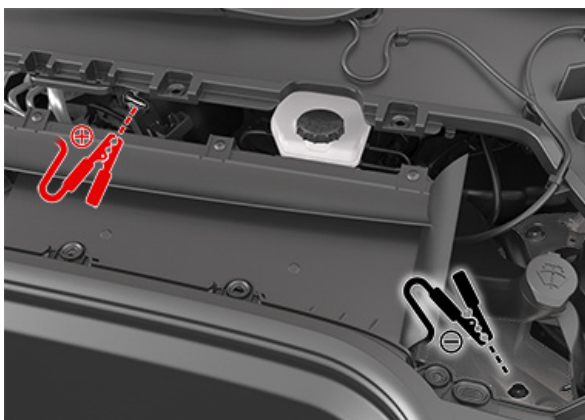
車両のジャンプスタート

火災や高電圧への曝露のリスクが低く、低電圧電源が供給されていない状況では、外部電源を使用して車両をジャンプスタートすることができます。ジャンプスタートを行う方法

1. フードを開けてフロントトランクエリアにアクセスします（第4章：「乗員へのアクセス」を参照）。
2. メンテナンス パネルを取り外すには、パネル後方の端を上方へ引いて、パネル固定用のトリム クリップを外してください。
3. 黒色のシールをめくると、ジャンプ ポストが現れます。
4. 赤色のカバーを取り外し、外部低電圧電源の赤色プラスのプラス (+) 側ケーブルを赤色のプラス (+) 側ジャンプ ポストに接続します。



5. HEPAフィルター ボルトはマイナス (-) ジャンプ ポストとして使用されます。低電圧電源の黒色マイナス (-) 側ケーブルを黒色マイナス (-) 側HEPAジャンプ ポストに接続します。



6. 外部電源をオンにします（製造元の取扱説明書を参照）。車両のタッチスクリーンをタッチして起動します。これは数分かかる場合があります。
7. 低電圧電源が不要になったら、電源をオフにするか切り離します。
8. ケーブルを外すときは、黒のマイナスケーブルから外します。

9. 重要な追加情報

この文書には、緊急時におけるModel Yの取り扱いに関する重要な指示と警告が含まれています。

メモ: 本文書の図は、北米の左ハンドル車両 (LHD) を示しています。他に記載がない限り、右ハンドル車両 (RHD) は、左ハンドル車 (LHD) の左右反転構造にはなっていません。



警告 レスキュー ツールおよび個人用防護具 (PPE)は、常に適切なものをご使用ください。指示に従わないと重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。



警告 無効化手順の有無に関わらず、すべての高電圧コンポーネントが通電状態にあることを常に想定して作業してください。高電圧コンポーネントの切断や破壊、接触があると、大怪我や死亡事故につながります。



警告 高電圧回路を無効化した後、放電するのに 2 分かかります。



警告 RCMには、バックアップ電源が搭載されており、放電時間は約10秒間です。エアバッグまたはプリテンショナーが展開してから10秒間は、RCMに触れないでください。



警告 水難救助に適したPPEを着用しないで水没した車体を取り扱うと、大怪我や死亡事故につながる恐れがあります。



警告 火災が発生した場合は、車両全体に通電してください。必ずSCBAを含む完全装備のPPEを着用してください。



警告 高電圧遮断ループを切断する際は 2 か所を切断し、切断部分をすべて取り除いてください。これにより、切断されたワイヤが誤って再接続するリスクを軽減します。



警告 本書で推奨されている高電圧シャットダウン方法を使用する場合、高電圧電源はバッテリーに絶縁されます。高電圧バッテリーは常に通電しています。



警告 リア タイヤが地面についた状態でModel Yを輸送しないでください。重大な損傷または過熱につながる恐れがあります。まれにはありますが、極度に加熱すると周りのコンポーネントに引火する恐れがあります。

お問い合わせ

緊急対応する1次および2次対応者は、Tesla ロードサイドアシスタンスに連絡を入れます。連絡先電話番号は、<https://www.tesla.com/support/roadside-assistance>をご参照ください。

オーナーズマニュアルおよび緊急救援隊員向けの情報については、<https://www.tesla.com/firstresponders>をご参照ください。緊急救援隊員およびトレーニング教官の方で質問がある場合は、firstrespondersafety@tesla.comまでご連絡ください。

10. 使用されている絵表示の説明

	一部の作業環境では、赤外線 (IR) 機器は赤外線カメラ (TIC) と呼ばれています。
	車両のフードを指し、電力がある状態とない状態でフードの開け方を詳しく説明しています。
	車両のトランクを指し、電力がある場合でトランクの開け方を詳しく説明しています。
	電気に関する警告
	引火の危険性
	爆発の危険性
	腐食性物質が存在する
	人体への有害性
	急性毒性
	圧力下のガスを含む
	水を使って消火する